

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:環境未来型エコライフスタイルが実現され環境価値観が深化・進化した社会  
 ~地域資源を活かしたエネルギーの地産地消による超高齢化社会システム・サービスの実現に向けて~

① 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境-1  
 <課題・目標>a) 低炭素・省エネルギー  
 ごみ焼却場で発生する熱エネルギー及び太陽光発電などの自然エネルギーを利用して、超高齢化社会の市民ニーズに対応する新たな行政サービスの電力源として活用するための次世代型充電ステーションを低炭素・省エネルギー社会の自立・自律的な都市インフラとして整備・活用するとともに、災害に強い新たな環境産業の創出を推進する。  
 <取組方針>  
 ・次世代型充電ステーションを組み込んだごみ焼却施設の建設  
 ・太陽光等を活用したハイブリッド型発電システムの導入  
 ・電気自動車など超高齢化社会の社会ツールの検討

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.太陽光など自然エネルギーを活用した発電とごみ発電を利用したハイブリッド型電力補完システムの基本スキーム検討
- b.太陽光など自然エネルギーを活用した発電とごみ発電を利用したハイブリッド型電力補完システムの基本仕様策定
- c.太陽光など自然エネルギーを活用した発電とごみ発電を利用したハイブリッド型電力補完システムの発注仕様策定
- d.太陽光など自然エネルギーを活用した発電とごみ発電を利用したハイブリッド型電力補完システムの整備・運用
- e.
- f.

※2. (1)①取組内容のみ記載すること  
 ※再掲可

② 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境-2  
 <課題・目標>c) 自然環境・生物多様性  
 循環型社会の形成と自然環境・生物多様性の保全による環境未来型社会の更なる推進を図る。  
 <取組方針>  
 ・里山活動拠点場所の提供  
 ごみ焼却施設の整備に併せて拠点スペースを確保するとともに、拠点スペースを有効活用するためのプラットフォームの形成を図る。  
 ・里山活動の推進によるバイオマスエネルギーの利用検討

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.情報発信機能の基本スキーム検討
- b.情報発信機能の仕様策定
- c.情報発信機能の整備
- d.
- e.
- f.

③ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境-3  
 <課題・目標>d) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)  
 環境未来型のエコスタイルを実現するため、3Rの徹底した実践に基づくゼロエミッションの実現化策としてごみ発電を推進する。  
 <取組方針>  
 ・木津川市もったいないプランの策定・実践

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化  
 <課題・目標>e) 地域の介護・福祉  
 超高齢化社会における高齢者等の移動手段として、次世代型充電ステーションに対応した次世代型コミュニティバス・タクシーや可搬型蓄電池の導入等を行う。  
 <取組方針>  
 ・次世代型コミュニティバス・タクシーの導入等の検討  
 ・次世代型コミュニティバス・タクシーの運行等  
 ・可搬型蓄電池の利用方法の検討・導入

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.次世代型車両の仕様検討
- b.可搬型蓄電池の仕様及び利用機器の検討
- c.次世代型車両の購入・運用
- d.
- e.
- f.

④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>その他  
 <課題・目標>i) 環境未来型社会を推進に向けた情報発信  
 環境未来型社会を推進するための“にかわ材”としての情報発信機能を構築する。  
 <取組方針>  
 ・ごみ焼却施設の整備に併せて啓発・推進スペースを確保  
 ・環境未来型社会に向けた先進事例・身近な実践例の調査  
 ・環境未来型社会のエコスタイルと共に発信・実践する組織の立上げ・運営

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.環境未来型社会の情報発信機能の仕様・スキーム検討
- b.情報発信機能の啓発・推進スペースの確保
- c.
- d.
- e.
- f.

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】

<①環境-1・a)低炭素・省エネルギー>、「①環境-2・c)自然環境・生物多様性」  
 環境未来型のエコスタイルが実現された社会は、市民生活に関わるだけでなく、地域資源である自然環境・生物多様性を豊かなものにすることが重要です。この二つの課題を総合的に取組むことにより、循環型社会の実現を超えた、より質の高い環境未来型都市の推進効果を創造します。

<①環境-1・a)低炭素・省エネルギー>、「①環境-3・d)3R」  
 廃棄物の物質循環だけでなく、エネルギー循環の視点に配慮したゼロエミッションの実現を創造します。

<①環境-1・a)低炭素・省エネルギー>、「②超高齢化対応」  
 これまで、活用できずにいたごみ・自然エネルギーを超高齢化社会に求められる行政サービスに活用することで、エネルギーの地産地消だけでなく、新たな超高齢化対策事業を創造します。

<①環境-1・a)低炭素・省エネルギー>、「①環境-2・c)自然環境・生物多様性」、「①環境-3・d)3R」、「②超高齢化対応」、「③その他」  
 情報交換により、それぞれの取組を有機的に結びつけ、事業のコラボレーションにより、新たな事業を創造します。